

広尾町下水道事業経営戦略 (個別排水処理事業)

平成 29 年 3 月

広 尾 町

【目 次】

1. はじめに	1
1.1 経営戦略の必要性	1
1.2 経営戦略における課題認識	1
1.3 目標年次	2
2. 投資計画	2
2.1 現状把握・分析、将来予測	2
2.1.1 個別排水処理事業経営の状況	3
2.2 事業の分析・評価及び目標設定	8
2.2.1 事業の分析	8
2.2.2 目標設定	8
2.3 投資計画の策定及び計算条件	9
2.3.1 事業種別投資計画	9
2.3.2 事業種別投資計画のまとめ	10
3. 収支計画及び財政計画	12
3.1 収支計画	12
3.2 財政計画	13
4. 効率化・経営健全化の取組	17
4.1 組織に関する事項	17
4.2 広域に関する事項	17
4.3 民間の資金・ノウハウの活用に関する事項	17
4.4 資金管理・調達に関する事項	17
4.5 情報公開に関する取組	17
4.6 その他の取組	17
5. 経営戦略の事後検証	18

1. はじめに

1.1 経営戦略の必要性

広尾町の下水道事業は、町民の生活衛生の向上のため計画的に整備を進めてきたが、今後は人口減少及び節水機器の普及に伴う下水道使用料収入の減少や、老朽化した下水道施設の更新費用等の増額が懸念されるなど、事業を取り巻く環境は大きな変化局面を迎えている。

こうしたなか経営の効率化と合理化を図り、事業を安定的かつ持続的に進めるため、客観的な視点から広尾町下水道事業の現在及び長期的な将来を見据えた財務分析等を実施し、最適な投資規模や資金計画等各種の経営課題を抽出するとともに、その改善方策について提案を受け、将来の経営戦略を策定することを目的とする。

1.2 経営戦略における課題認識

施設、財務に関する「経営戦略」では、①将来的な需要を適切に把握するとともに、アセットマネジメント等の知見を活用してその最適化を図ることを内容とする「投資計画」と、②必要な需要額を賄う財源を中長期的な経営の中で計画的かつ適切に確保することを内容とする「財政計画」を策定する。なお、「投資計画」と「財政計画」は、相互に関連したものであり、最終的に均衡した形として策定する。

また経営戦略を策定する際には、十分な現状分析・把握を行うことを前提に、中長期的な視点を持つことが求められ、投資計画においては中長期的な更新需要予測を適切に行うとともに、財政計画においては財源構成からその実現可能性を検証し、経営戦略として取りまとめることが重要である。経営戦略の策定ステップを図 1.1 に示す。

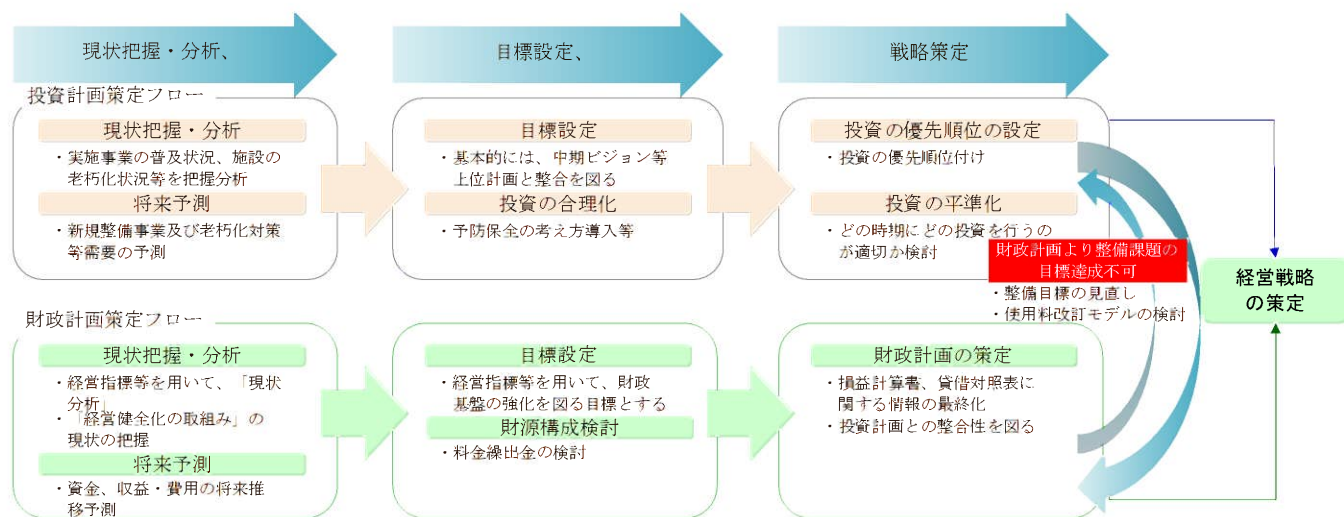


図 1.1 経営戦略策定の全体像

1.3目標年次

本経営戦略の目標年次は平成 38 年度とする。

2. 投資計画

2.1現状把握・分析、将来予測

本町の個別排水処理事業は平成 15 年に開始され、生活環境の整備及び公共用水域の水質保全対策として計画的に整備が進められてきた。平成 27 年度末における水洗化率は 100%となっており、現在も計画的に浄化槽設備を行っている。今後は整備した施設の維持管理及び改築の時代に入っていくことが予想される。

表 2.1 広尾町平成 27 年度末実績（個排）※

項 目	単位	平成 27 年度末累計
		数 値
処理面積	ha	59,060
行政区内人口	人	7,205
全体区域内人口	人	450
事業区域内人口	人	375
処理可能人口	人	-
水洗化人口	人	375
浄化槽基数	基	113
総処理水量	m ³	33,420
有収水量	m ³	33,420

表 2.2 広尾町平成 27 年度整備状況（個排）

項 目	単位	平成 27 年度末累計
下水道処理人口普及率	%	5.2
下水道計画普及率	%	6.2
下水道事業達成率	%	83.3
行政区内水洗化率	%	5.2
事業計画内水洗化率	%	100
污水处理人口普及率	%	5.2
処理区域内人口密度	人/ha	0.8

※平成 27 年度決算統計書より

2. 1. 1個別排水処理事業経営の状況

本町の個別排水処理事業における経営状況について直近5ヶ年の決算書及び決算統計書資料により整理し、下水道事業経営の課題について検討を行った。

a) 個別排水処理事業経営の現状

(1) 事業費推移

本町における収入及び支出構成は、以下のとおりである。

- ・浄化槽の設置を継続して行っていることから、下水道使用料は微増の傾向にある。
- ・元利償還費は増加傾向にあり、平成27年度において総支出の約38%を占めている。
- ・維持管理費は増加傾向にあり、今後も施設の老朽化に伴い増加傾向は続いて行くと予想される。
- ・官公庁会計の特徴でもあるが、収入と支出が均衡しているため、経営に係る問題点がわかりにくくなっている。

表 2.3 歳入歳出別決算状況*

単位：千円

項目		H23	H24	H25	H26	H27
歳入	個別排水使用料	4,696	4,999	5,176	5,433	5,738
	一般会計繰入金	11,526	11,400	15,302	14,441	20,001
	国庫補助金					
	受益者分担金	1,345	864	580	818	500
	地方債	9,100	4,500	8,800	6,800	6,900
	その他	7	4	8	3	6
	合計	26,674	21,767	29,866	27,495	33,145
歳出	建設費	14,128	6,772	13,245	9,016	13,181
	維持管理費	5,651	6,071	6,144	6,665	7,431
	元金	4,905	6,519	8,296	9,898	10,723
	利子	1,990	1,976	1,901	1,815	1,704
	その他					
	合計	26,674	21,338	29,586	27,394	33,039
収支差引額			429	280	101	106

*決算書より引用

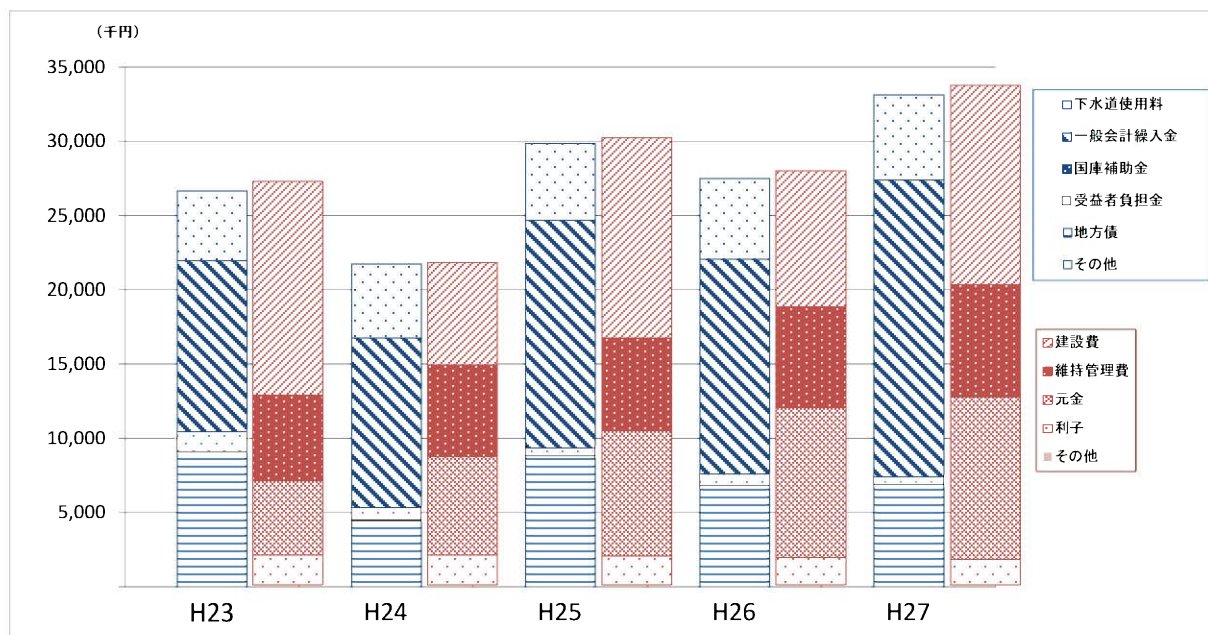


図 2.1 歳入歳出決算状況 (決算書より)

表 2.4 浄化槽設置基数の実績

単位：基

	H23	H24	H25	H26	H27
浄化槽 設置基数	93	97	104	108	113

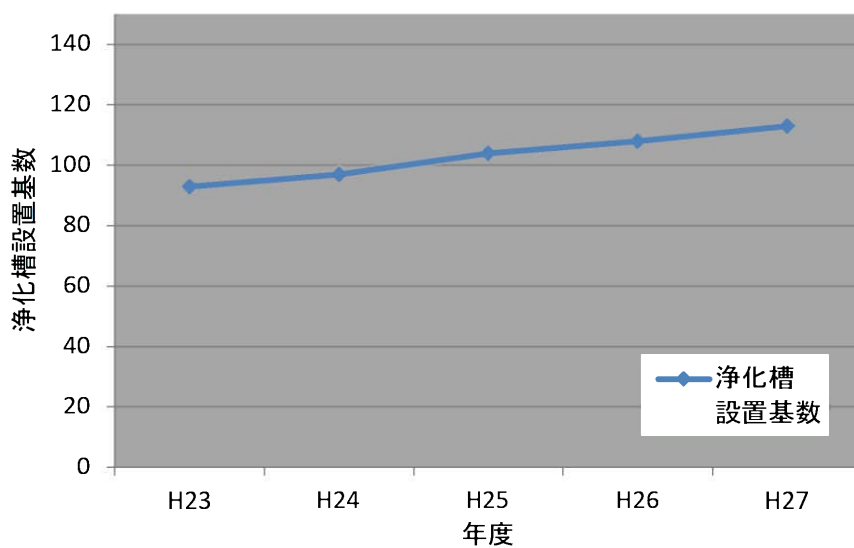


図 2.2 浄化槽設置基数の推移

b) 使用料対象経費と使用料収入額の現状

本町における使用料対象経費と使用料推移の特徴は以下のとおりである。

- ・浄化槽設置工事を継続して行っていることから、資本費（元金）は増加傾向にある。
- ・使用料不足額については一般会計繰入金により補填している。
- ・資本費及び維持管理費が増加傾向にあるため、今後も使用料対象経費は増加していくことが予想される。
- ・平成 27 年度における使用料不足額は約 14,120 千円となっており、使用料収入に対して、使用料対象経費の増加が大きいことから、今後も使用料不足額は増加して行くことが予想される。

表 2.5 使用料対象経費と使用料収入の状況*

単位：千円

単位：千円

項目		H23	H24	H25	H26	H27
個別排水使用料		4,696	4,999	5,176	5,433	5,738
使用料 対象経費	資本費（元金）	681	3,257	4,148	9,898	10,723
	資本費（利子）	67	313	300	1,815	1,704
	維持管理費	5,651	6,071	6,144	6,665	7,431
	小計	6,399	9,641	10,592	18,378	19,858
使用料不足額		1,703	4,642	5,416	12,945	14,120

*決算統計書より引用

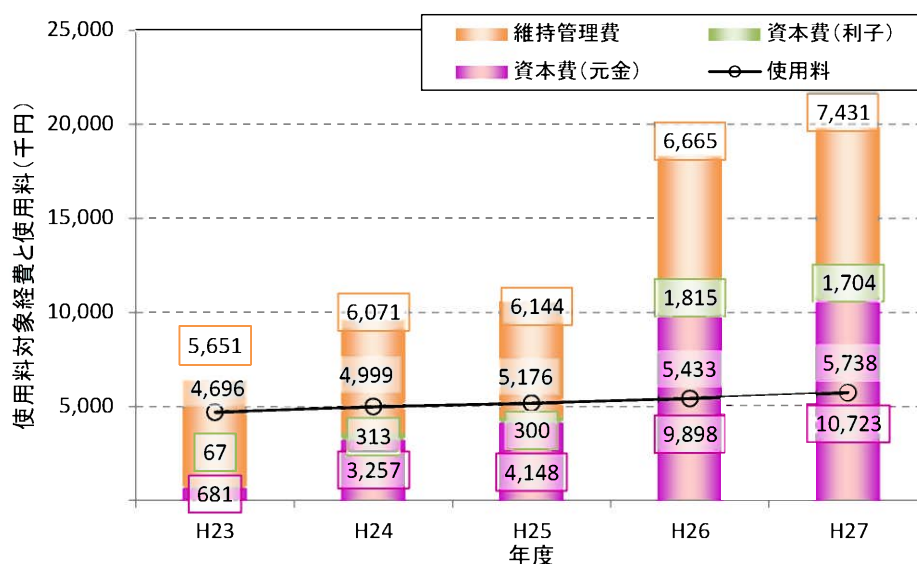


図 2.3 使用料対象経費と使用料収入の状況

c) 一般会計繰入金の状況

直近 5 ヶ年における一般会計繰入金の状況を以下に示す。基準内繰入は年度毎に増減があるが、おおよそ 12 百万円程度で推移しており、平成 27 年度における一般会計の繰入金は 20 百万円程度となっている。

表 2.6 一般会計繰入金の状況 *

単位：千円

項目	H23	H24	H25	H26	H27
基準内繰入	10,526	11,400	15,302	11,713	12,427
基準外繰入				2,728	7,574
合計	10,526	11,400	15,302	14,441	20,001

* 決算統計書より引用

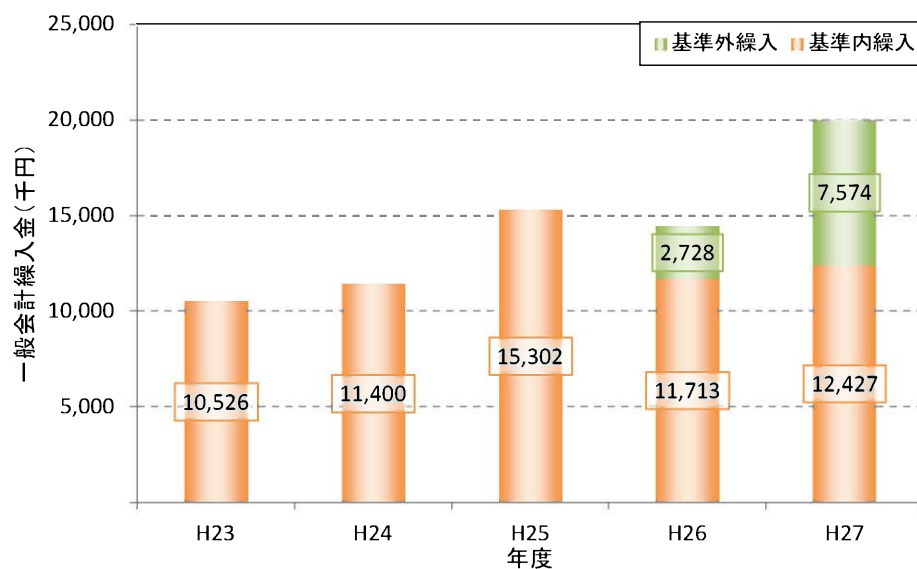


図 2.4 一般会計繰入金の状況

d) 決算統計数値による事業指標

総務省により公表されている本町の下水道事業の指標について以下に示す。

【事業の進捗状況】

- ・汚水処理人口普及率は類型・全国平均を上回っている。また水洗化率も 100%と類型平均及び全国平均を上回っており、本町の下水道事業はほぼ概成していることが分かる。

【経営の効率性】

- ・平成 27 年度の使用料単価は 171.7 円/m³ となっており、全国平均である 153.6 円/m³ を上回っているが類似団体の平均値である 170.9 円/m³ と同程度の値である。
- ・汚水処理原価については全国平均と比較して高い傾向にあり、特に資本費において類型平均及び全国平均を大きく上回っている。
- ・経費回収率については全国平均及び類型平均と比較すると低い傾向にあり、対象経費の 30%程度となっている。

表 2.7 決算統計数値による事業指標

項目	広尾町（個排） 決算統計		類型平均 (H26)	全国平均 (個排) (H26)	計算方法	説明
	H26	H27				
事業の概要						
汚水処理人口普及率	%	5.2	5.2	—	1.2	処理区域人口/行政区内人口 下水道を利用できる人口の割合 ※高いほど整備が進んでいる
進捗率	%	83.8	83.3	44.5	66.2	処理区域人口/全体計画区域人口 下水道計画に対する人口ベースの進捗率 ※高いほど整備が進んでいる
有収率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	年間有収水量/年間総汚水処理量 汚水量のうち使用料の対象となっている量の割合 ※高いほど効率的
水洗化率	%	100.0	100.0	66.1	80.3	水洗化人口/処理区域人口 下水道に接続し水洗便所を設置した人口の割合 ※高いほど接続が進んでいる
経営の効率性						
使用料単価	円/m ³	182.36	171.69	170.88	153.62	下水道使用料収入/年間有収水量 使用料対象水量1m ³ 当りの使用料収入 ※高いほど使用料水準が高い
汚水処理原価	円/m ³	616.88	594.20	353.25	293.69	汚水処理費/年間有収水量 使用料対象水量1m ³ 当りの処理費 ※低いほど効率的
汚水処理原価 （維持管理費）	円/m ³	223.72	222.35	301.00	69.03	汚水処理費（維持管理費） /年間有収水量 使用料対象水量1m ³ 当りの維持管理費 ※低いほど効率的
汚水処理原価 （資本費）	円/m ³	393.16	371.84	52.25	36.95	汚水処理費（資本費） /年間有収水量 使用料対象水量1m ³ 当りの資本費 ※低いほど効率的
経費回収率	%	29.6	28.9	48.4	52.3	下水道使用料収入/汚水処理費 使用料で処理費を回収している割合 ※高いほど健全経営
経費回収率 （維持管理費）	%	81.5	77.2	56.8	59.8	下水道使用料収入/汚水処理費 （維持管理費） 使用料で維持管理費を回収している割合 ※高いほど健全経営

※類型平均及び全国平均については、H27 値が公表されていないため、比較対象は H26 とした。

2.2事業の分析・評価及び目標設定

2.2.1事業の分析

a) 普及対策の状況

現状、浄化槽設置を計画的に行っており、今後も雑排水処理を促進する必要がある地域において、計画的に浄化槽の整備を行っていく方針である。

2.2.2目標設定

上記の普及対策の状況を踏まえ以下のとおり設定した。

表 2.8 事業の目標設定

項目		単位	現状値 (H27)	目標値 (H38)	備考
普及 対策	浄 化 槽 整 備	基	113	170	H29 以降、単年度 5 基整備

2.3投資計画の策定及び計算条件

2.3.1事業種別投資計画

a) 普及対策

普及対策として、雑排水処理を促進する必要がある地域において、予算状況を考慮し単年度5基の浄化槽整備を計画的に行う。なお排水改良工事に対する調査費は、必要に応じて見込むものとし、今回計画の測量調査費には計上していない。

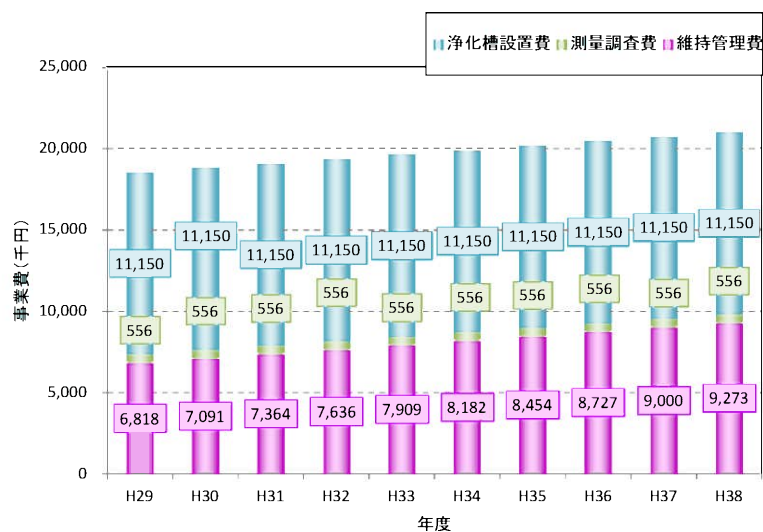
表 2.9 普及対策費計算条件の整理

単位：千円

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計
浄化槽設置費	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	111,500
測量調査費 ^{*1}	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	5,560
維持管理費 ^{*2}	6,818	7,091	7,364	7,636	7,909	8,182	8,454	8,727	9,000	9,273	80,454
計	18,524	18,797	19,070	19,342	19,615	19,888	20,160	20,433	20,706	20,979	197,514

*1 浄化槽1基辺りの測量調査費により算出した（過年度実績）。なお排水改良工事測量調査費は必要に応じて行うものとし、見込まないものとした

*2 浄化槽1基辺りの維持管理費により算出した（過年度実績）



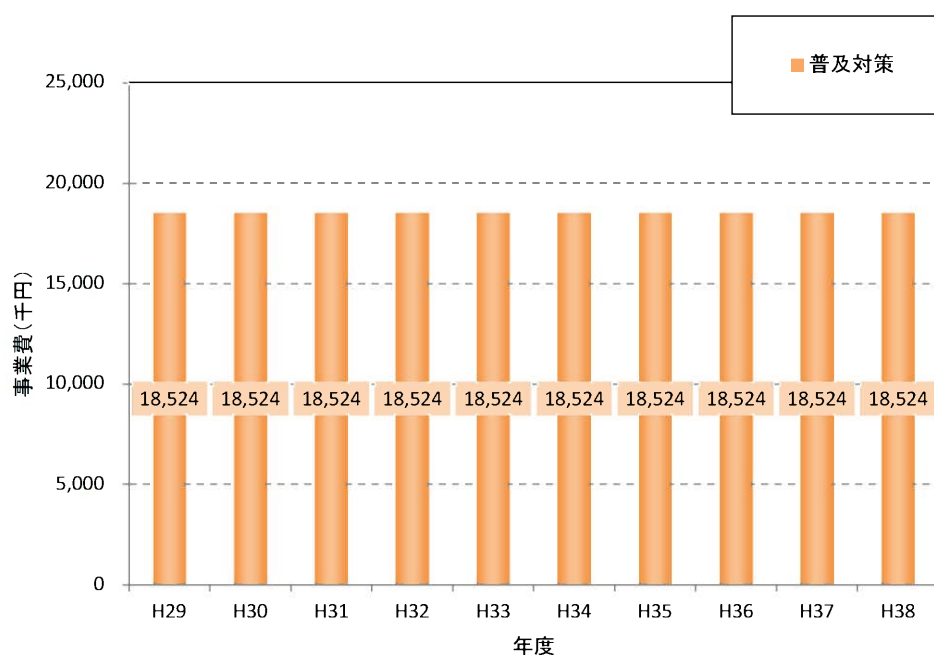
2.3.2事業種別投資計画のまとめ

調査・計画設計費、老朽化対策費及び普及対策費のまとめについて以下の表 2.10 に示す。

表 2.10 事業種別投資計画のまとめ

単位：千円

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計
普及対策	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	185,240
計	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	18,524	185,240

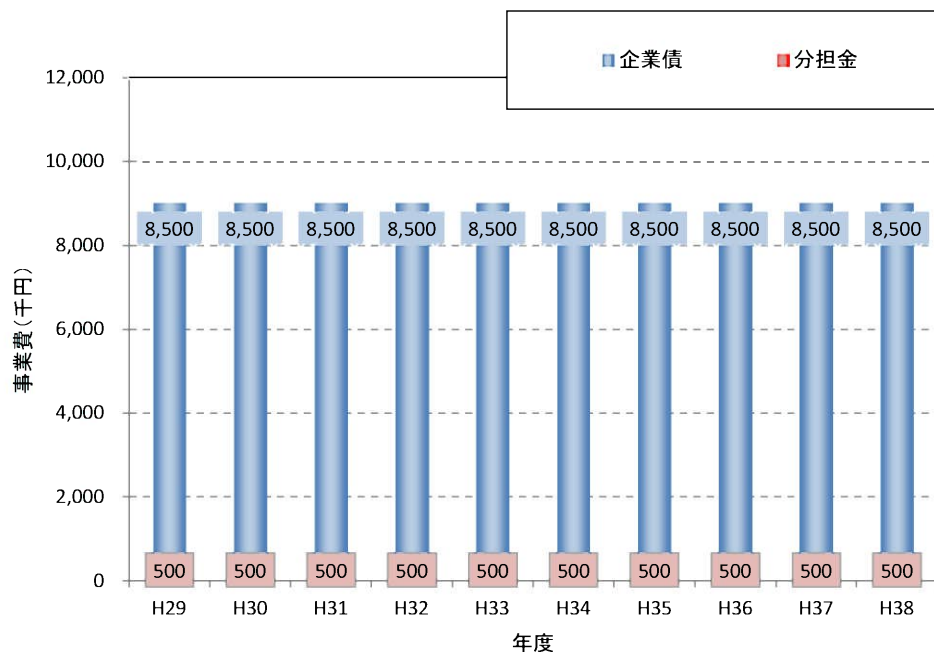


a) 財源見込

前頁で示した事業種別投資計画における財源見込を表 2.11 に示す。

表 2.11 財源見込のまとめ

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計
分担金	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	5,000
企業債	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	85,000
計	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	90,000



3. 収支計画及び財政計画

3. 1収支計画

平成 38 年度までの各事業の投資額の見込みとその財源、地方債借入額及び償還額、収支計画を以下に示す。

表 3.1 収支計画のまとめ（個別排水処理事業）

項	目	区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	H29～H38 合計	備考
			H28*	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38		
歳入	一般会計繰入金		23,506	22,009	22,406	23,383	23,383	23,095	23,068	23,643	23,491	23,769	24,529	232,776	＊1
	受益者分担金		378	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	5,000	＊2
	起 債		7,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	85,000	＊3
	合 計		31,384	31,009	31,406	32,383	32,383	32,095	32,068	32,643	32,491	32,769	33,529	322,776	
歳出	工事 請負費	浄化槽設置工事費	10,560	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	111,500	＊4
	委託料	測量調査費	1,048	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	10,000	＊5
		維持管理費	6,758	6,818	7,091	7,364	7,636	7,909	8,182	8,454	8,727	9,000	9,273	80,454	＊6
	起債 償還費	元金償還費	11,444	10,545	10,738	11,501	11,295	10,786	10,535	10,882	10,503	10,557	11,097	108,439	＊7
		利子償還費	1,574	1,496	1,427	1,368	1,302	1,250	1,201	1,157	1,111	1,062	1,009	12,383	＊7
	合 計		31,384	31,009	31,406	32,383	32,383	32,095	32,068	32,643	32,491	32,769	33,529	322,776	

- ＊ 平成28年度は予算書より引用
- ＊1 歳出合計－（受益者分担金＋起債）
- ＊2 広尾町資料より
- ＊3 広尾町資料より
- ＊4 広尾町資料より
- ＊5 浄化槽1基辺りの測量調査費により算出した（過年度実績）
- ＊6 浄化槽1基辺りの維持管理費により算出した（過年度実績）
- ＊7 過年分償還費＋新規分償還費

表 3.2 起債償還費のまとめ

項 目		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	H29～H38 合計	備考
		H28*	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38		
起債償還費（元金）	過年度分	11,444	10,545	10,738	10,828	9,620	8,103	6,838	6,165	4,760	3,781	3,280	74,658	＊1
	新規分	0	0	0	673	1,675	2,683	3,697	4,717	5,743	6,776	7,817	33,781	＊2
起債償還費（利子）	過年度分	1,574	1,445	1,325	1,215	1,102	1,009	925	852	783	718	655	10,029	＊1
	新規分	0	51	102	153	200	241	276	305	328	344	354	2,354	＊2

- ＊ 平成28年度は予算書より引用
- ＊1 過年度分は広尾町資料より引用
- ＊2 新規分償還費の算出には以下の計算条件を基に行った。
 - ・下水道事業債 : 年利率0.6%、償還期間10年（据置2年）
 - ・過疎債 : 年利率0.6%、償還期間12年（据置2年）

3. 2財政計画

本町の目標年次（平成 58 年度）までの将来シミュレーションを以下の計画諸元値を算出したのち CASE1～CASE3 にて行った。

a) 料金収入シミュレーション

料金収入に係る諸元値の将来値は、以下の内容を考慮して設定する。表 3.3 に料金収入シミュレーションを示す

b) 年間総処理水量

年間総処理水量（ $\text{m}^3/\text{年}$ ）は現在より水利用形態が変わらないものとし、H27 実績より原単位（ $\text{m}^3/\text{年} \cdot \text{人}$ ）を算出し（以下参照）、将来水洗化人口（人）に乘じることにより算出した。

$$\begin{aligned} & \cdot \text{年間総処理水量実勢（}\text{m}^3/\text{年）} \div \text{浄化槽設置基数（基）} \\ & = \text{年間総処理水量原単位（}\text{m}^3/\text{年} \cdot \text{基）} \end{aligned}$$

c) 有収率

有収率（%）は、近年の動向を確認し今後も 100%で推移していくものとした。

$$\cdot \text{年間有収水量（}\text{m}^3/\text{年）} \div \text{年間総処理水量（}\text{m}^3/\text{年）}$$

d) 浄化槽設置基数

浄化槽設置基数は、今後も年度毎に 5 基の浄化槽設備工事を行うと仮定した。

表 3.3 料金収入シミュレーション（H27 実績使用料単価ベース）

項目		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	備考
浄化槽設置基数(基)	①	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200	205	210	215	220	225	230	235	240	245	250	255	260	265	270	①
水洗化率(%)	②	97.9	98.0	98.0	98.1	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	②
年間総処理水量(m³)	③	35,490	36,969	38,448	39,927	41,405	42,884	44,363	45,842	47,320	48,799	50,278	51,757	53,235	54,714	56,193	57,672	59,150	60,629	62,108	63,587	65,065	66,544	68,023	69,502	70,981	72,459	73,938	75,417	76,896	78,374	79,853	③
有収水率(%)	④	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	④
有収水量(m³)	⑤	35,490	36,969	38,448	39,927	41,405	42,884	44,363	45,842	47,320	48,799	50,278	51,757	53,235	54,714	56,193	57,672	59,150	60,629	62,108	63,587	65,065	66,544	68,023	69,502	70,981	72,459	73,938	75,417	76,896	78,374	79,853	⑤
使用料単価(円/m³)	⑥	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	171.7	⑥
使用料(千円)	⑦=⑤×⑥	6,093	6,347	6,601	6,855	7,109	7,363	7,617	7,871	8,124	8,378	8,632	8,886	9,140	9,394	9,648	9,902	10,155	10,409	10,663	10,917	11,171	11,425	11,679	11,933	12,187	12,440	12,694	12,948	13,202	13,456	13,710	⑦

本計画において行った将来シミュレーションの条件について以下に示す。

表 3.4 将来シミュレーション条件まとめ

項目	使用料単価 (円/m³)	備考
CASE1	171.7	現況どおり
CASE2	280.0	H31以降、有収水量及び使用料対象経費の平均値より使用料単価を算出
CASE3	319.0	H31以降、不足額が生じない使用料単価を算出

なお将来シミュレーションの算出には以下の収支計画に基づいて行った。

表 3.5 目標年度までの収支計画まとめ

項 目	区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	H29～H58 合計	備考	
		H28*	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58			
歳入	一般会計繰入金	23,506	22,009	22,406	23,383	23,383	23,095	23,068	23,643	23,491	23,769	24,529	25,081	25,700	25,973	26,246	26,518	26,791	26,543	26,744	26,547	24,019	24,292	24,561	24,834	25,107	25,380	25,652	25,925	26,198	26,470	26,737	748,094	*1	
	受益者分担金	378	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	15,000	*2	
	起 債	7,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	255,000	*3	
	合 計	31,384	31,009	31,406	32,383	32,383	32,095	32,068	32,643	32,491	32,769	33,529	34,081	34,700	34,973	35,246	35,518	35,791	35,543	35,744	35,547	33,019	33,292	33,561	33,834	34,107	34,380	34,652	34,925	35,198	35,470	35,737	1,018,094		
歳出	工事 請負費	10,560	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150	334,500	*4	
	委託料	測量調査費	1,048	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	30,000	*5
		維持管理費	6,758	6,818	7,091	7,364	7,636	7,909	8,182	8,454	8,727	9,000	9,273	9,545	9,818	10,091	10,364	10,636	10,909	11,182	11,454	11,727	12,000	12,273	12,545	12,818	13,091	13,364	13,636	13,909	14,182	14,454	14,727	323,179	*6
	起債 償還費	元金償還費	11,444	10,545	10,738	11,501	11,295	10,786	10,535	10,882	10,503	10,557	11,097	11,436	11,780	11,780	11,780	11,780	11,780	11,780	11,780	11,301	8,500	8,500	8,497	8,498	8,499	8,500	8,501	8,502	8,503	8,504	8,499	307,139	*7
		利子償還費	1,574	1,496	1,427	1,368	1,302	1,250	1,201	1,157	1,111	1,062	1,009	950	952	952	952	952	952	431	360	369	369	369	369	368	367	366	365	364	363	362	361	23,276	*7
	合 計		31,384	31,009	31,406	32,383	32,383	32,095	32,068	32,643	32,491	32,769	33,529	34,081	34,700	34,973	35,246	35,518	35,791	35,543	35,744	35,547	33,019	33,292	33,561	33,834	34,107	34,380	34,652	34,925	35,198	35,470	35,737	1,018,094	

- * 平成28年度は予算書より引用
- *1 歳出合計－（受益者分担金＋起債）
- *2 広尾町資料より
- *3 広尾町資料より
- *4 広尾町資料より
- *5 浄化槽1基辺りの測量調査費により算出した（過年度実績）
- *6 浄化槽1基辺りの維持管理費により算出した（過年度実績）
- *7 過年分償還費＋新規分償還費

表 3.6 目標年度までの起債償還費まとめ

項 目		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	H29～H58 合計	備考
		H28*	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
起債償還費(元金)	過年度分	11,444	10,545	10,738	10,828	9,620	8,103	6,838	6,165	4,760	3,781	3,280	3,280	3,280	3,280	3,280	3,280	3,280	3,280	3,280	2,801	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,143	*1
	新規分	0	0	0	673	1,675	2,683	3,697	4,717	5,743	6,776	7,817	8,156	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,497	8,498	8,499	8,500	8,501	8,502	8,503	8,504	8,499	203,440	*2
起債償還費(利子)	過年度分	1,574	1,445	1,325	1,215	1,102	1,009	925	852	783	718	655	592	592	592	592	592	592	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,226	*1
	新規分	0	51	102	153	200	241	276	305	328	344	354	358	360	360	360	360	360	360	360	369	369	369	369	368	367	366	365	364	363	362	361	9,624	*2

- * 平成28年度は予算書より引用
- *1 過年度分は広尾町資料より引用
- *2 新規分償還費の算出には以下の計算条件を基に行った。
 - ・下水運送費償還 ； 年利率0.6%、償還期間10年（措置2年）
 - ・道債償還 ； 年利率0.6%、償還期間12年（措置3年）

e) CASE1～3 まとめ

- ・設置基数の増加に伴い、料金収入は増加していくが、現状の使用料単価では不足している状況である。
- ・将来投資額の変動により、使用料対象経費は増減しながら推移していくことが予想される。
- ・現状の使用料単価では今後も使用料不足額が発生し続けるため、使用料単価の値上げの検討が必要となる。

項目		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29～H58 合計	平均値	備考
浄化槽設置基数（基）		120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200	205	210	215	220	225	230	235	240	245	250	255	260	265	270			①
有収水量（m³）		35,490	36,969	38,448	39,927	41,405	42,884	44,363	45,842	47,320	48,799	50,278	51,757	53,235	54,714	56,193	57,672	59,150	60,629	62,108	63,587	65,065	66,544	68,023	69,502	70,981	72,459	73,938	75,417	76,896	78,374	79,853	1,752,332	57,672	②
使用料 （千円）	CASE1	6,093	6,347	6,601	6,855	7,109	7,363	7,617	7,871	8,124	8,378	8,632	8,886	9,140	9,394	9,648	9,902	10,155	10,409	10,663	10,917	11,171	11,425	11,679	11,933	12,187	12,440	12,694	12,948	13,202	13,456	13,710	300,856		③
	CASE2	6,093	6,347	6,601	11,180	11,593	12,008	12,422	12,836	13,250	13,664	14,078	14,492	14,906	15,320	15,734	16,148	16,562	16,976	17,390	17,804	18,218	18,632	19,046	19,461	19,875	20,289	20,703	21,117	21,531	21,945	22,359	482,487		④
	CASE3	6,093	6,347	6,601	12,737	13,208	13,680	14,152	14,624	15,095	15,567	16,039	16,510	16,982	17,454	17,926	18,397	18,869	19,341	19,812	20,284	20,756	21,228	21,699	22,171	22,643	23,114	23,586	24,058	24,530	25,001	25,473	547,884		⑤
使用料 対象経費 （千円）	資本費（元金）	3,433	3,164	3,221	3,450	3,389	3,236	3,161	3,265	3,151	3,167	3,329	3,431	3,534	3,534	3,534	3,534	3,534	3,534	3,534	3,390	2,550	2,550	2,549	2,549	2,550	2,550	2,550	2,551	2,551	2,551	2,550	92,143		⑥
	資本費（利子）	472	449	428	410	391	375	360	347	333	319	303	285	286	286	286	286	286	129	108	111	111	111	111	110	110	110	110	109	109	109	108	6,986		⑦
	維持管理費	7,891	8,220	8,549	8,878	9,206	9,535	9,864	10,193	10,522	10,850	11,179	11,508	11,837	12,166	12,495	12,823	13,152	13,481	13,810	14,139	14,467	14,796	15,125	15,454	15,783	16,111	16,440	16,769	17,098	17,426	17,755	389,631		⑧
	小計	11,796	11,833	12,198	12,738	12,986	13,146	13,385	13,805	14,006	14,336	14,811	15,224	15,657	15,986	16,315	16,643	16,972	17,144	17,452	17,640	17,128	17,457	17,785	18,113	18,443	18,771	19,100	19,429	19,758	20,086	20,413	488,760	16,147	⑨
使用料 不足額 （千円）	CASE1	△5,703	△5,486	△5,597	△5,883	△5,877	△5,783	△5,768	△5,934	△5,882	△5,958	△6,179	△6,338	△6,517	△6,592	△6,667	△6,741	△6,817	△6,735	△6,789	△6,723	△5,957	△6,032	△6,106	△6,180	△6,256	△6,331	△6,406	△6,481	△6,556	△6,630	△6,703	△187,904		⑩
	CASE2	△5,703	△5,486	△5,597	△1,558	△1,393	△1,138	△963	△969	△756	△672	△733	△732	△751	△666	△581	△495	△410	△168	△62	164	1,090	1,175	1,261	1,348	1,432	1,518	1,603	1,688	1,773	1,859	1,946	△6,273		⑪
	CASE3	△5,703	△5,486	△5,597	△1	222	534	767	819	1,089	1,231	1,228	1,286	1,325	1,468	1,611	1,754	1,897	2,197	2,360	2,644	3,628	3,771	3,914	4,058	4,200	4,343	4,486	4,629	4,772	4,915	5,060	59,124		⑫

①:表2.13料金シミュレーション ①より引用
②:表2.13料金シミュレーション ⑤より引用
③:有収水量(②)×CASE1使用料単価(171.7円/m³)
④:有収水量(②)×CASE2使用料単価(280.0円/m³)
⑤:有収水量(②)×CASE3使用料単価(319.0円/m³)
⑧:維持管理費の算出には有収水量に対する維持管理費の割合(維持管理費/有収水量)をH27実績より算出して行った。
⑨:⑥+⑦+⑧
⑩:③-⑨
⑪:④-⑨
⑫:⑤-⑨

表 3.7 計算条件まとめ

項目	使用料単価 (円/m³)	備考
CASE1	171.7	現況どおり
CASE2	280.0	H31以降、有収水量及び使用料対象経費の平均値より使用料単価を算出
CASE3	319.0	H31以降、不足額が生じない使用料単価を算出

単位:円/m³

使用料単価 (CASE2)	(16,147/57,672)×1000=280.0
------------------	----------------------------

単位:円/m³

使用料単価 (CASE3)	(12,738/39,927)×1000=319.0
------------------	----------------------------

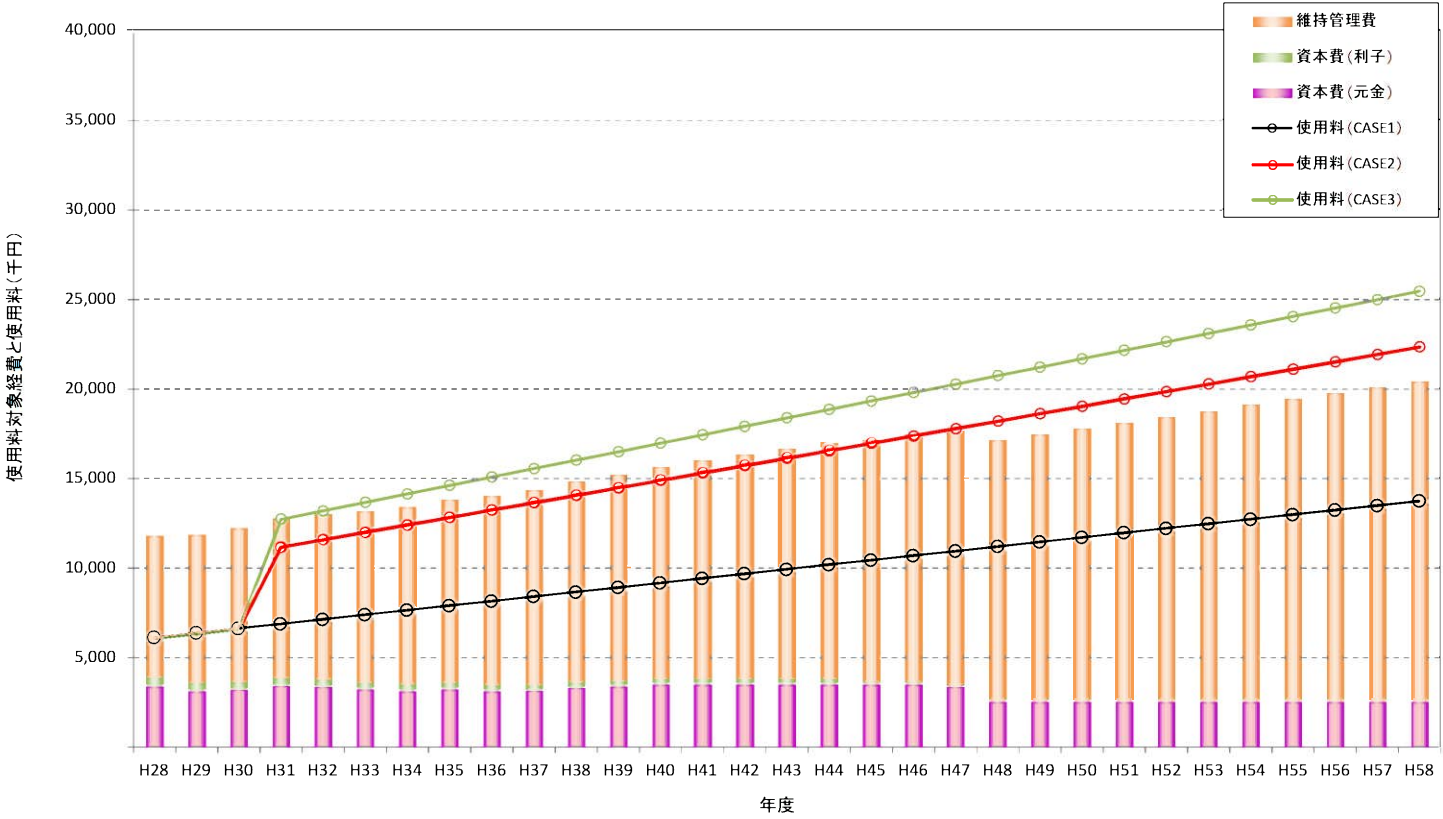


図 3.1 使用料対象経費と使用料

4. 効率化・経営健全化の取組

4.1組織に関する事項

上下水道課は下水道をはじめ、上水道、浄化槽の各事業を所管しています。職員は、より迅速・的確に事務事業を遂行するため、これまで以上に効率やコストを意識しつつ、それぞれが持つノウハウや技術、情報等を共有し、着実に継承していく必要があると考えています。

このため、職員は各種研修会等に積極的に参加し、個々の技術力や知識を高めるとともに、各種会議等により、その技術や知識の共有を図っていきます。

4.2広域に関する事項

現在は未検討ですが、今後、活用の可能性がある場合には必要に応じて慎重に検討していきます。

4.3民間の資金・ノウハウの活用に関する事項

現在、浄化槽設備の維持管理業務を民間事業者に委託しておりますが、その他については、今後も必要に応じて検討していきます。

4.4資金管理・調達に関する事項

今後ともコストの平準化や縮減に努めていきます。また使用料の改定については、様々な状況を勘案しつつ、慎重に検討していきます。

4.5情報公開に関する取組

下水道に関する情報については、町のホームページ等を活用し、随時提供していますが、今後は必要に応じて内容の見直しや事後検証等に取り組んでいきます。

4.6その他の取組

今後とも、計画的な浄化槽設備を行うとともに、水洗化率の向上等、財源確保につながる経費についての費用対効果を検証しつつ取り組んでいきます。

5. 経営戦略の事後検証

本経営戦略は PDCA サイクルを活用し、計画、実施、検証、計画見直しを行います。

見直しに当たっては、表 2.8 を基にした進捗確認を行うとともに、効率化・経営健全化の取組状況についても検証し、必要に応じて見直すものとします。

また、新たな投資・財政計画が具体化した場合、その内容を本経営戦略に追加するものとします。